

ジョイント4割低価格

マツダと
平安製作所
幅広い業種向け新工法

マツダ（大阪市城東区、松田英成社長、06・6968・4981）と平安製作所（滋賀県高島市、荒木邦彦社長、0740・271271）は、冷間圧造によって材料歩留まり率を30%改善した油圧ホース用ジョイント「2WAY鋼管ジョイント」写真を開発した。従来より価格を4割程度下げられる。自動車部品など幅広い業種に提案する。

ジョイントを3分割し、冷間圧造により各パーツを製造して組み立てる新工法を採用した。マツダが製造した各パーツを、平安製作所が持つ溶接技術で接合して組み立てる。従来は真ちゅうをジョイントの形に切削する一体化部品だったが、新工法により材料費を大幅に削減できる。

マツダは冷間圧造技術を、平安製作所は自動車部品などの金属プレス加工や、溶接・組み立てを得意とする。

